

CSR

Environmental Report 2020

かけがえのない地球を守るため、私たちが今できることを・・・



トップメッセージ



かけがえのない地球を守るため、
私たちが今できることを・・・

小林クリエイティブ株式会社

代表取締役社長 小林友也

当報告書では、2019年度（2018年10月から2019年9月）に実施しました“CSR”としての諸施策や環境活動とそのパフォーマンスデータを中心に報告を致します。

2019年度の世界経済においては、米中の貿易摩擦の激化によって景気が減退し、さらに両国間の関係を見ても、その影響は長期化する恐れがあり2020年度も引き続き先行き不安な状況が続くと予想されます。

日本経済においては、令和への改元や消費税増税前の国内消費増、ラグビーワールドカップ開催によるインバウンド需要増等があったものの、輸出において減退傾向にあり、緩やかな成長となりました。

当社においては、このような不安定な経済状況の中で、情報処理分野・自動車製造業向けシステム開発分野で確実に需要を捉え、増収増益という結果を残すことができました。

2020年は、新型コロナウイルスの世界的な流行による急速な景気減退に始まり、他にも消費税増税後の買い控え、オリンピック閉幕後の消費の減退など、多くの懸念材料があります。その中で継続して成長を続けていくためにも、これまで以上に収益向上を目指し、スピード感を持って事業に取り組んでいく所存です。

環境活動の面では、昨年末に開催されたCOP25においてパリ協定実施ルールについて合意に至らず、日本としても二酸化炭素排出量削減目標を具体的に提示することはありませんでした。しかし、当社としてはひきつづき環境スローガンである「かけがえのない地球を守るため、私たちが今できることを・・・」を掲げ、地球温暖化対策（CO2削減）・省エネルギーに全社一丸で取り組んでまいります。具体的には、原材料の調達・開発・製造・輸送・廃棄（リサイクル）のプロセスにおける環境負荷低減活動に向けた取り組みの推進はもちろん、照明器具のLED化・空調設備の省エネルギー化など職場環境における取り組みを「環境マネジメントシステム（ISO14001認証）」により計画実行していきます。また、地域貢献及び地域社会とのコミュニケーション活動として、近隣の教育機関等への廃材提供活動、環境クリーンキャンペーンを実施していきます。

最後に、当報告書の発行に際し、ご協力を頂きました関係各位へ誌上ではございますが厚く御礼を申し上げます。本報告書を御高覧いただき、皆様からのご意見・ご感想をお寄せいただければ幸いです。当社は、今後もステークホルダーの皆様と共に歩み信頼される企業を目指してまいります。

2020年2月

環境方針・推進体制

全ての事業活動において『環境負荷の低減』『環境関連法規制の順守』『顧客からの環境関連要求事項の順守』によって、現在および未来の環境保護活動への貢献を目指します。

小林クリエイト株式会社 環境方針

小林クリエイト株式会社は、記録用紙、ビジネスフォーム製品の製造・販売、情報処理サービスなど、全ての事業活動において、経営者及び社員一人ひとりが現在及び未来の地球環境を守ることに貢献します。

環境方針

1. 環境目的・環境目標を定めて見直し、環境マネジメントシステムの自主的な維持向上と運用を通じて継続的な改善と汚染の予防に努めます。
2. 省資源、省エネルギー、環境関連物質による環境負荷の低減、廃棄物の削減、資源のリサイクル化を積極的に推進します。
3. 全従業員に環境教育を実施し、社員一人ひとりの環境活動に対する意識の向上を図ります。
4. 環境保全活動・生物多様性保全活動への積極的な参画による地域社会との共生、環境配慮型商品の開発と提供を通じて、豊かで持続可能な環境社会の実現に貢献します。
5. 環境関連法規制及びお客様からの環境関連要求事項等、当社が認める他の要求事項を順守します。
6. 環境マネジメントシステムは、本社・本社工場、安城工場、東京情報処理センターで運用を行います。
7. 環境方針は、全従業員に周知すると共に、一般への開示を行います。

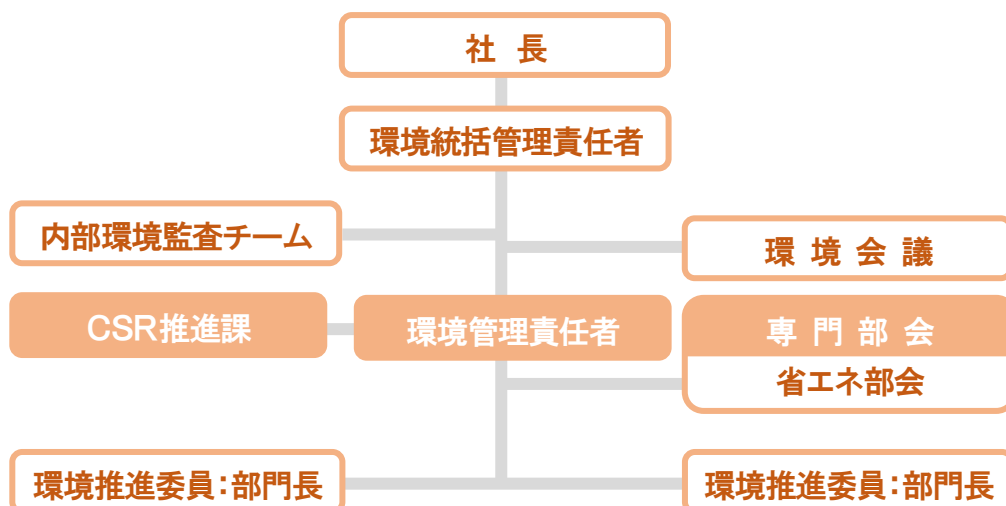
制定日 2000年 3月24日

改定日 2015年10月 1日

【環境スローガン】 かけがえのない地球を守るため、私たちが今できることを…

環境マネジメントシステムの推進体制

環境マネジメントシステム推進組織図



当社は、環境保全活動を継続的に実施するため、左記の推進体制により、活動を実施しています。活動は、部門単位（または部門の集合単位）で任命された環境推進委員（部門長）を中心に進めています。また、専門部会を設置し、全社的な取り組みを実施しています。

コミュニケーション

要望・苦情

要望 地元ボランティア団体に
余剰カレンダーの提供を
行いました。



余剰カレンダーの提供

苦情 苦情は、ありませんでした。

社会貢献活動 地域とともに

廃材・余剰資材の提供

「環境保全・教育支援」を目的として、製造工程から排出される廃材や余剰資材を地域へ無償提供する活動を行っています。愛知県刈谷市・安城市内の保育園や幼稚園、

小学校の放課後子ども教室、児童館、大学での子供向けイベントなど多くの場で有効活用していただいています。



廃材や余剰資材

【提供資材】

- *紙材：上質紙、タック紙、白ボール等
- *段ボール：原紙包装材（丸型）、外装箱材（板）等
- *紙芯棒：ラップ、クラフトテープ、紙テープ等
- *その他：両面テープ、透明シール等



いろいろな紙管を使った造形作品



ダンボールで作った舞台大道具

就労支援

特別支援学校の作業体験授業（メモ帳製作）で使う上質紙（年間60,000枚）を無償提供し活用していただいています。

作業体験の授業で製作したメモ帳



4年間の児童福祉振興への寄与に
対して感謝状をいただきました。

野球指導

軟式野球部による、近隣中学校の生徒さんへの野球指導を継続的に実施しています。



環境クリーンキャンペーン

本社・本社工場、安城工場にて定期的に職場近隣の清掃活動を実施しています。



エコキャップ推進活動

ペットボトルキャップの収集、NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会（JCV）への提供を通じて、世界の子どもたちへのワクチンの寄付活動に参加しています。

2019年度までに約34万個（ワクチン408人分相当）の提供をしました。

内部監査

2019年度は、延べ18名の内部監査員により、環境管理責任者、推進単位、専門部会に対して内部監査を実施しました。内部監査では、マネジメントシステムの有効性に重点を置いた監査方法を取り入れております。

年度	対象部門	是正要求件数	観察事項件数	肯定的観察事項件数
2017年度	14部門	5件	23件	13件
2018年度	10部門	4件	19件	9件
2019年度	11部門	1件	32件	10件

環境リスク

緊急事態への対応

本社・本社工場、安城工場において、環境リスクが大きいと想定される緊急事態を特定し、直接又は間接要因で起こりうる有害な環境影響を予防・緩和するための手順を定めています。年に1回、主管部門が緊急事態の対応テストを実施し、手順の有効性を確認しています。



緊急事態対応テスト

発生場所	想定される緊急事態	生じる環境影響
本社・本社工場		
三次処理施設	処理不能物の投入、装置故障、配管の破損・破裂による規制値オーバーの汚水の流出	水質汚濁 土壌汚染
廃油缶	廃油回収作業ミス、廃油缶の転倒・破損による防油堤外への廃油の流出	水質汚濁 土壌汚染 悪臭
廃液保管庫	廃液回収装置の破損・取扱不備による防液堤外への廃液の流出	水質汚濁 土壌汚染 悪臭
安城工場		
三次処理施設	処理能力の低下、処理不能物の投入、装置故障、配管の破損・破裂による規制値オーバーの汚水の流出	水質汚濁 土壌汚染
危険物屋内貯蔵所	貯蔵所倒壊、容器破損による溶剤、油の流出	水質汚濁 土壌汚染
廃糊コンテナ	コンテナ・防液堤の破損による廃糊液の流出	水質汚濁 土壌汚染

発生事故とその対応

2019年度に発生した事故はありませんでした。

社内啓蒙活動

業務上での環境取り組みだけでなく、日常生活においても環境を意識することで、会社全体さらには従業員の家族などより多くの人に環境問題について考えてもらえるよう様々な活動を行っています。

環境パフォーマンス

環境への改善活動を効果的に進めていくために、自らが発生させている環境への負荷やそれに係る対策の成果を常に把握し監視しています。

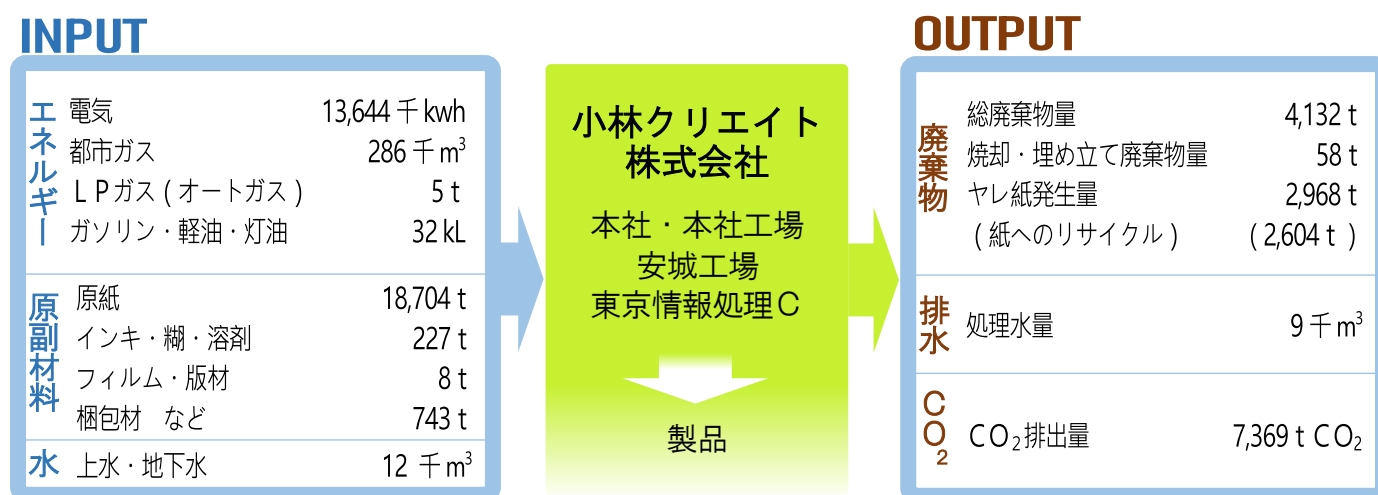
化学物質管理 (PRTR 法該当物質取扱量内訳)

物質名	取扱量(kg)	%
トルエン	242	35.2
1,2,4-トリメチルベンゼン・・・(注1.)	207	30.1
マンガン及びその化合物(マンガンとして)	71	10.4
フェライト	43	6.3
その他	123	18.0
合計	686	100.0

(注1.) 1,2,4-トリメチルベンゼンを含まない洗浄剤に変更したことにより、前年度より大幅に取扱量が削減できました。

エコバランス

当社が2019年度の事業活動を行うにあたり、投入された資源の量と発生した環境負荷を集計しました。



パフォーマンスデータ

		本社・本社工場			安城工場			東京情報処理C		
エネルギー投入量	単位	2017	2018	2019	2017	2018	2019	2017	2018	2019
電気使用量	千kwh	10,668	10,643	10,391	2,137	2,183	2,128	1,086	1,127	1,125
ガス使用量	千m ³	258	258	260	32	31	25	-	-	-
排出量データ	単位	2017	2018	2019	2017	2018	2019	2017	2018	2019
CO ₂ 排出量	t CO ₂	6,108	5,813	5,683	1,167	1,130	1,088	577	598	598
総廃棄物量	t	3,114	3,088	3,249	781	786	740	222	199	143
インキ廃棄量	t	3.3	4.4	4.0	0.3	0.3	0.3	0.9	0.6	0.7
糊廃棄量	t	3.4	3.5	4.2	0.0	0.0	0.0	-	-	-

CSRの取り組み

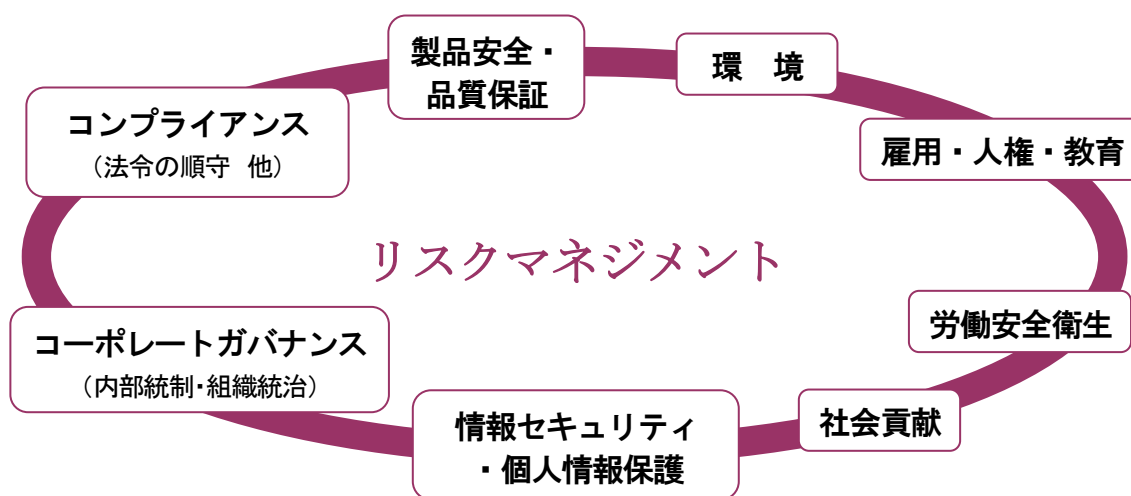
当報告書では、当社が推進してきました“CSR”として包括される諸事項について、施策毎の切り口より、これまでの主な取り組みや体制及び直近の主要な取り組みの内容についてご報告しています。

小林クリエイト株式会社のCSR

当社のCSR推進における基本は「社訓」「経営理念」とし、各施策やマネジメントシステム毎に適切な基本方針を設定し運用しています。

社訓・経営理念

CSRの推進に当たっては、創業以来『社訓』として掲げてまいりました「誠実・感謝・和協・愛情・奉仕」を基調に、『経営理念』を掲げ、社員への自覚を啓蒙しています。



コーポレートガバナンス、コンプライアンスへの取り組み

当社は、取締役会、監査役会設置会社として経営に関わる内部統制を行っています。

品質管理への取り組み

製品製造に関わる全工程においてISO9001（品質マネジメントシステム）の認証を取得しており、“お客様にご満足頂ける製品・サービス”のご提案・ご提供を目指してまいります。

リスクマネジメントへの取り組み

「リスクマネジメント基本規程」を制定し、会社を取り巻く各種のリスクを評価し取り組むべき課題を明確にしています。

労働安全衛生の取り組み

法令を順守し、さらに職場における危険性や有害性を調査し、その結果に基づいて災害防止策を講じています。

情報セキュリティ・個人情報保護への取り組み

お客様からお預かりした情報（データ）や個人情報の機密性を最大限に確保することを重要な課題と位置づけ、プライバシーマーク認証、ISO/IEC27001（情報セキュリティマネジメントシステム）の認証を取得し、確実な運用と継続的改善を進めています。

小林クリエイティブ株式会社

<http://k-cr.jp>

本社 〒448-8656 愛知県刈谷市小垣江町北高根1-1-5番地
TEL 0566-26-5310 FAX 0566-26-5308

お問い合わせ先

CSR推進課

〒448-8656 愛知県刈谷市小垣江町北高根1-1-5番地
TEL 0566-26-5201 FAX 0566-26-5399
e-mail csr@k-cr.jp



認証サイト：本社及び本社工場 安城工場
東京情報処理センター